

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立道上幼稚園園舎改修給排水衛生設備工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市立道上幼稚園の敷地内です。

別の施設にて、幼稚園の運営をしております。

2. 別途工事

建築工事 ～ 一式

電気設備工事 ～ 一式

冷暖房換気設備工事 ～ 一式

3. 留意事項

① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事期間中は、第三者との事故及び災害防止に努めてください。

構内管理については、施設管理者との協議、調整を十分に行ってください。

③ 工事施工上必要となる官公署への手続きは、受注者により速やかに行ってください。

④ 既存工作物等に損傷を与えないよう、適切な対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議の上、速やかに復旧してください。

⑤ 工事関係車両が工事場所から周辺道路へ泥を持ち出すことの無いよう、十分注意してください。なお泥を持ち出した場合には、速やかに清掃を行ってください。

⑥ 工事場所は、住宅等の建物が隣接する敷地になります。工事中の重機等による振動、騒音及び防塵には十分注意し、移動の際は最徐行等の適切な対策を講じてください。

⑦ 工事場所周辺の道路は、通学路に指定されていることから児童及び第三者の通行の安全確保に細心の注意を払ってください。また、朝及び夕方の登下校時の工事関係車両の通行は、施設管理者と協議の上、実施してください。

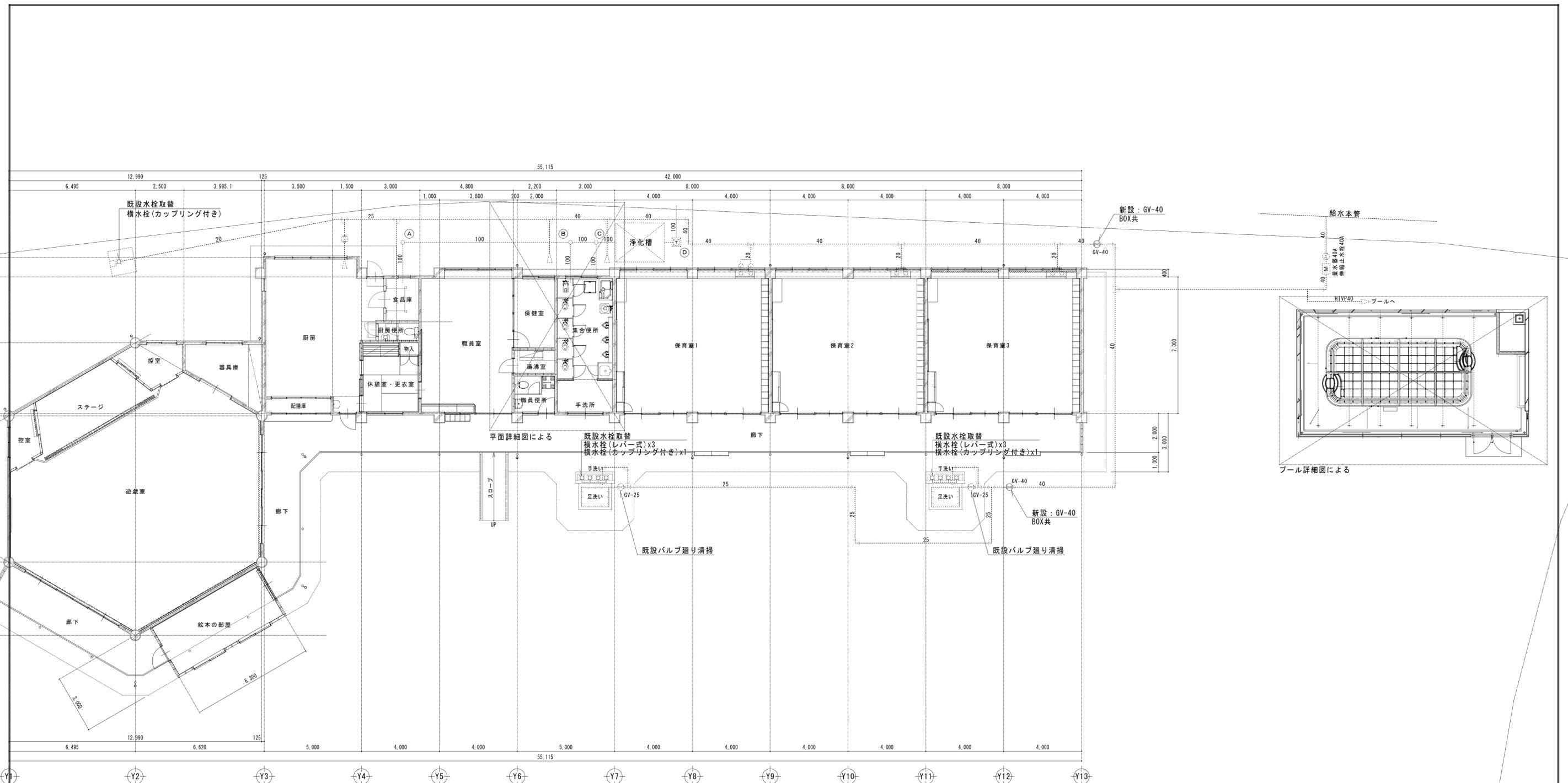
⑧ 別途工事業者との調整を行い、円滑な工事施工の遂行に努めてください。

⑨受注者は、次表に従い、情報共有システムを利用する。

金額	利用形態
設計金額3,500万円以上	発注者指定型
当初契約金額500万円以上	受注者希望型

発注者指定型の場合、システム利用料を見込んでいる。

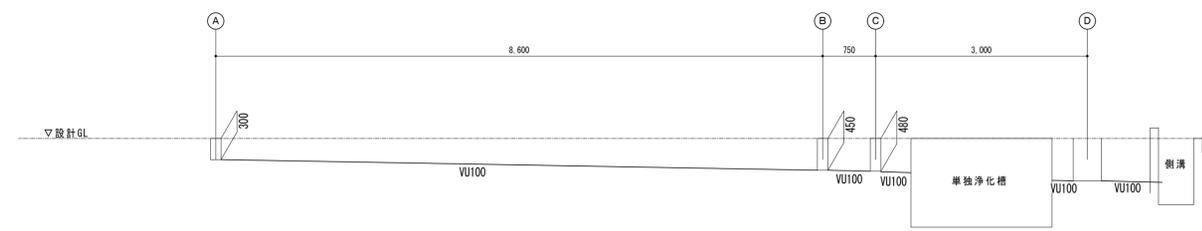
排 水 設 備	① 管 (第1層まで)	※硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・排水用給管 (SHASE-S203) ・コーティング鋼管 ・結露防止層付塩化ビニル管 ・耐火二層管 ・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP	ガ ス 設 備	1 種別 ・都市ガス ・液化石油ガス	自 動 制 御 設 備	1 中央監視制御装置 ・有り (構成機能図は図示による) ・無し																					
	② 通気管	・配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ○硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・耐火二層管 ・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管		2 管 ・配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ・ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) ・塩化ビニル被覆鋼管		2 電源装置 ・要 (・本工事 ・別途工事) ・不要																					
給 湯 設 備	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。	空 調 設 備	3 継手 ・鋼管継手 (垂鉛メッキ) ・PLS継手同等品以上・溶接継手	3 計装工事の記録 ・屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。																						
	4 ビット内配管保温 (屋外)	・施工する ・施工しない		4 プロパンガス集合装置 ・(50)kgX(4)本立 ・無 ・バルク貯槽 ()kg ・堅型 ・横型																							
消 火 設 備	⑤ 方式	○自然排水 ・ポンプ排水	換 気 設 備	5 機器等 ・別図による																							
	⑥ 管	○硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (・VP ※VU)		6 遮断装置等 ・遮断弁 ・ガス漏れ警報器 ・取付は (・本工事 ・別途工事) とする。 ・配線接続は (・本工事 ・別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会いの上試験を行う。																							
浄 化 槽 設 備	⑦ インパート樹	○SA, AB形 ・SC形 ○小口径	1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条 件</th> <th colspan="2">屋 外</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0[※] %</td> </tr> <tr> <td>冬 季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0[※] %</td> </tr> </table> <p>※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>			条 件	屋 外		屋 内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 [※] %	冬 季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 [※] %		
	条 件	屋 外		屋 内																							
温度 (DB)		湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																							
夏 季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 [※] %																							
冬 季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 [※] %																							
⑧ インパート樹用蓋	○塩ビ製 ○鉄製 (・MHA ・MHB ○小口径用防護ハット)	2 冷水・温水・冷却水 冷水水管 膨張・補給水管 ・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP ・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP ・断熱材被覆鋼管 (JCDA0009)																									
備	⑨ 排水樹	・RA, RB形 ・SC型 ・小口径	11 冷水水管の空気抜	4 ブライン管 ・配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP																							
	⑩ 排水樹用蓋	・塩ビ製 ・鉄製 (・MHA ・MHB ・小口径用防護ハット) ・グレーチング ・鉄板製 ○ 6m/m		5 給水及び排水管 給、排水設備の項による。																							
備	⑪ 埋設深さ	・300m/m以上 (車道道路以外) ・600m/m以上 (車道道路) ○勾配図による。	12 その他	6 ファンコイルユニット ・床置形 ・天吊形 (・露出 ・隠ベイ形 ・カセット形) 及びパッケージエアコン																							
	⑫ その他	○配管工事完了後、防露工事前に監督員立会いの上、通水試験を行う。 ・配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会いの上満水試験を行う。		7 フレキシブルジョイント ・ステンレス製ベローズ形 ・合成ゴム製 ・枠及びスリットの材質は ・鋼板製 ・アルミニウム製																							
備	① 方式	○単管式 ・複管式	13 予備品等	8 吹出口・吸込口 ・防塵・防火ダンパー ・防塵ダンパー (SD) ・防火ダンパー (FD) ・防塵防火ダンパー (SFD) ・防塵ダンパーは ・電気式 ・空気式 ・ダンパー復帰機構は ※遠隔式 ・手元式																							
	② 管	・鋼管 (JIS H 3300) (・Mタイプ ・Lタイプ) ・被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ○保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材 (14mm以上) で被覆したもの) ・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・架橋ポリエチレン管 ・ポリブテン管		9 風道 ・グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・垂鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※コーナールボルト工法 (・共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンパーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に入れる。 ・空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。																							
備	③ 弁	○JIS 10K ・JIS 5K		10 風道 ・グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・垂鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※コーナールボルト工法 (・共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンパーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に入れる。 ・空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。																							
	④ 熱源	・ボイラー () ・給湯器、湯沸器 () ○電気温水器 () ・ヒートポンプ式給湯器 ()		11 冷水水管の空気抜 試験は、配管途中若しくは隠べい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試験調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・冷媒及び吸液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。																							
備	⑤ 膨張水槽	・ステンレス製 () ・鋼板製 ()		12 その他 ※ 機器表特記による。 ・空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の () %を予備品 (枠付) として納める。																							
	⑥ その他	・コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。		1 ダクト 低圧ダクト (・スパイラルダクト ・コーナールボルト工法 (・共板 ・スライド) ・アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一番手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 取付位置は (・図示した位置 ・遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・外気取入れダクト) とする。																							
備	1 管	・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG ・配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS ※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。		2 風量測定口 取付位置は (・図示した位置 ・遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・外気取入れダクト) とする。																							
	2 弁	・JIS 10K		3 ダンパー 空気調和設備の当該項目による。																							
備	3 消火栓箱	・総合形 (・HB-1A・HB-1B) ・単独形 (・HB-2A・HB-2B) ・総合形 (・HB-4A・HB-4B) ・消火器箱併設形 (・HB-1AS ・HB-1BS)		4 排気ダクトのシール ・浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統																							
	4 水源用水槽	・ステンレス製 () ・鋼板製 ()		5 チャンパー 空気調和設備の当該項目による。																							
備	5 消火ポンプユニット	・認定型 φ x /min x m kW x 台 ・標準型 ・防振型		6 保温 下記ダクトの保温を行う。 ・全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ・ (・厨房・湯沸室・) のダクト (仕様はh・(イ)・Ⅶとし範囲は図示による。) ・OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ・EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm)																							
	6 ポンプ基礎	・ () 型 () 本 ・収納箱共・置合共・壁掛フック共																									
備	7 消火器	・ () 型 () 本 ・収納箱共・置合共・壁掛フック共																									
	8 保温	イ) 呼水タンクの保温 ・施工しない ・施工する ロ) 充水タンクの保温 ・施工しない ・施工する ハ) 消火配管の保温は次による。 ・屋内消火栓用 ・施工しない ・施工する ・スプリンクラー用 ・施工しない ・施工する ・連結送水用 ・施工しない ・施工する ・連結散水用 ・施工しない ・施工する																									
備	9 その他	水圧試験及び消防設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。																									
	1 処理種別	・小規模合併処理 ・合併処理 ・単独処理槽 ・放流水質 (・BOD mg/以下 ・COD mg/以下 ・T-N mg/以下 ・T-P mg/以下)																									
備	2 構造	・分離接触ばっ気方式 ・長時間ばっ気方式 ・分離ばっ気方式 その他 ()																									
	3 形式・容量	・ユニット型 () 型 人槽 /日 ・現場施工型 () 人槽 /日																									
備	4 排水方式	・自然排水 ・ポンプ排水 ()																									
	5 マンホール	・MHA型 ・MHB型 ・製造者の規格品																									
備	6 その他	工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。																									
	1 ダクト	低圧ダクト (・スパイラルダクト ・コーナールボルト工法 (・共板 ・スライド) ・アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一番手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 取付位置は (・図示した位置 ・遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・外気取入れダクト) とする。																									



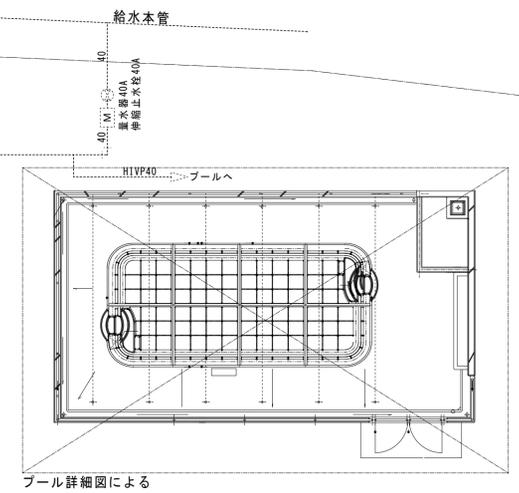
1階平面図 1:100

柵リスト※改修工事無し

柵番号	品名	仕様	計画深さ	蓋の仕様
A	小口径柵 90L	100-150	GL-300	みかけ
B	小口径柵 90Y	100-150	GL-450	みかけ
C	小口径柵 90Y	100-150	GL-480	みかけ
D	コンクリート製			

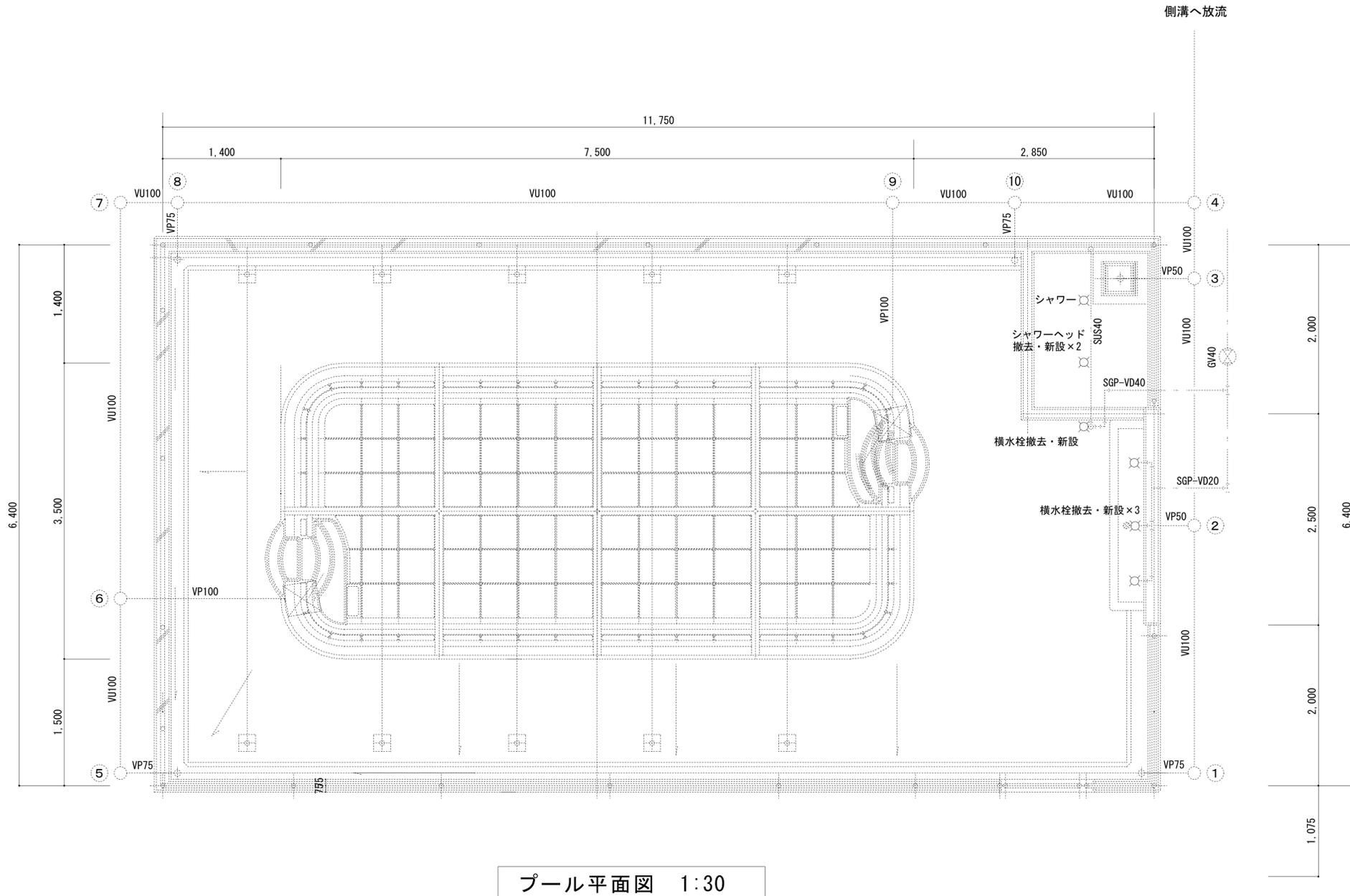


汚水配水勾配図 1:50 ※改修工事無し

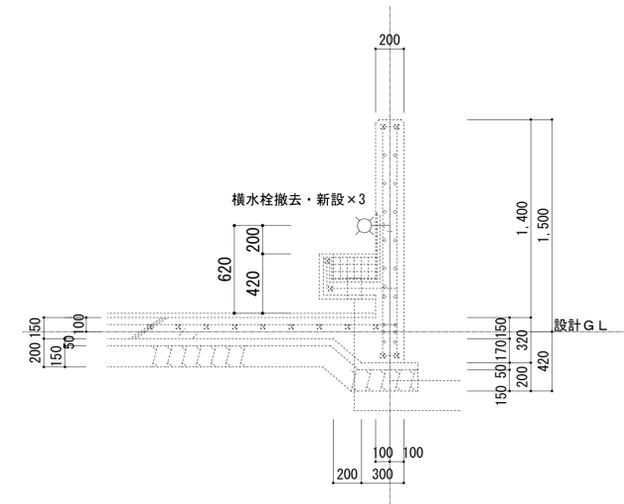


プール詳細図による

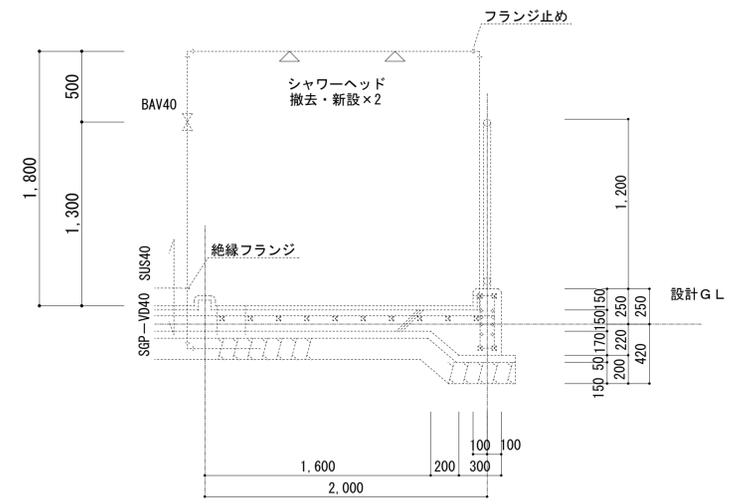
縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%



プール平面図 1:30



手洗場詳細図 1:25



シャワー詳細図 1:25

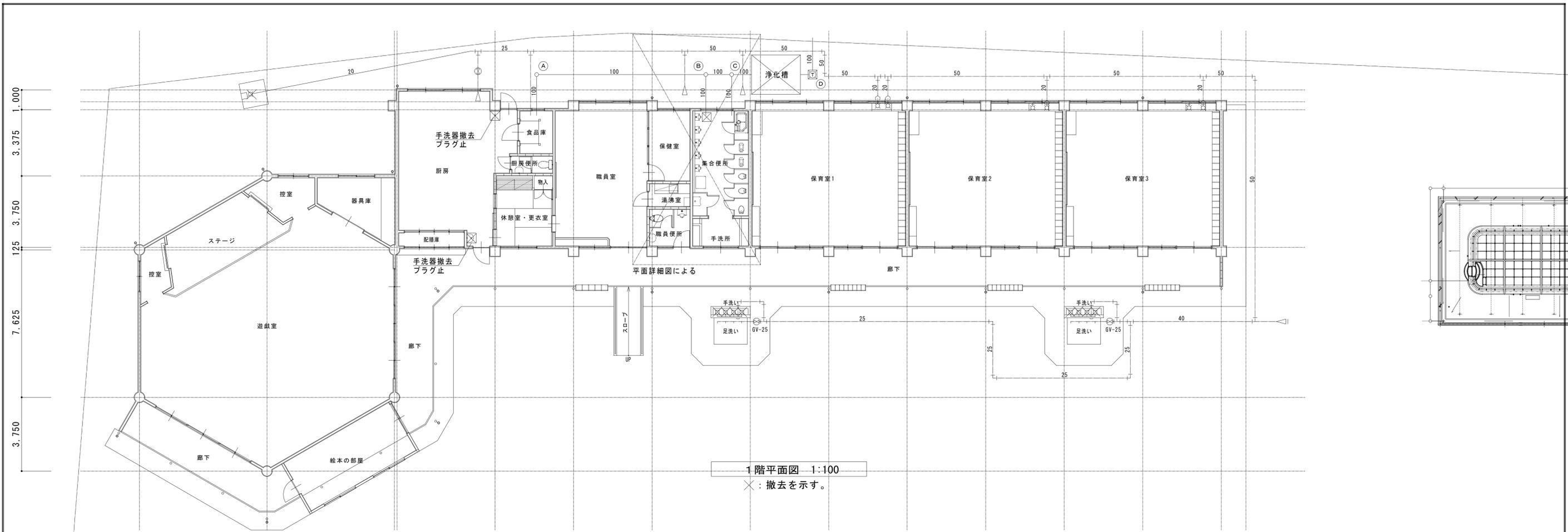
既存のまま

番号	品名	仕様	計画深さ	蓋の仕様
①	小口径柵 90L	100-150	GL-530	みかけ
②	小口径柵 90Y	100-150	GL-560	みかけ
③	小口径柵 90Y	100-150	GL-590	みかけ
④	小口径柵 90Y	100-150	GL-600	みかけ
⑤	小口径柵 90L	100-150	GL-400	みかけ
⑥	小口径柵 90Y	100-150	GL-420	みかけ
⑦	小口径柵 90L	100-150	GL-470	みかけ
⑧	小口径柵 90Y	100-150	GL-477	みかけ
⑨	小口径柵 90Y	100-150	GL-562	みかけ
⑩	小口径柵 90Y	100-150	GL-577	みかけ

機器仕様表

名称	既設品番・仕様	個数	備考
シャワーヘッド	TB-18R → シャワーヘッド	2	撤去・新設
万能ホーム水栓	T200S13 → 横水栓(レバー式水栓)	3	撤去・新設
横水栓	T28AU20(撤去) → 横水栓(カップリング付き)	1	撤去・新設
ボールバルブ	40A → (既設・改修工事無し)	1	
ゲートバルブ	10K 40A → (既設・改修工事無し)	1	
バルブボックス	B-1 → (既設・改修工事無し)	1	
流し排水金物	T14BA 50 → (既設・改修工事無し)	1	
排水共栓	KSNAE 50 → (既設・改修工事無し)	1	
ホース	φ21 → (既設・改修工事無し)	7	ホースバンド1個付属

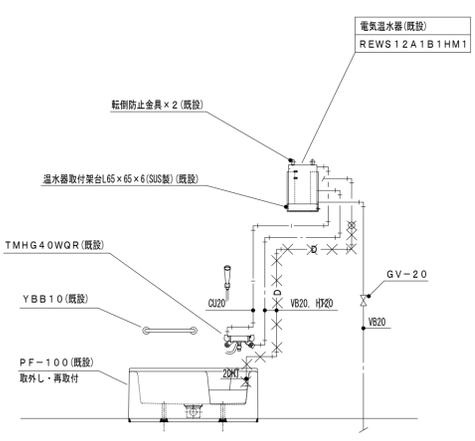
縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%



1階平面図 1:100

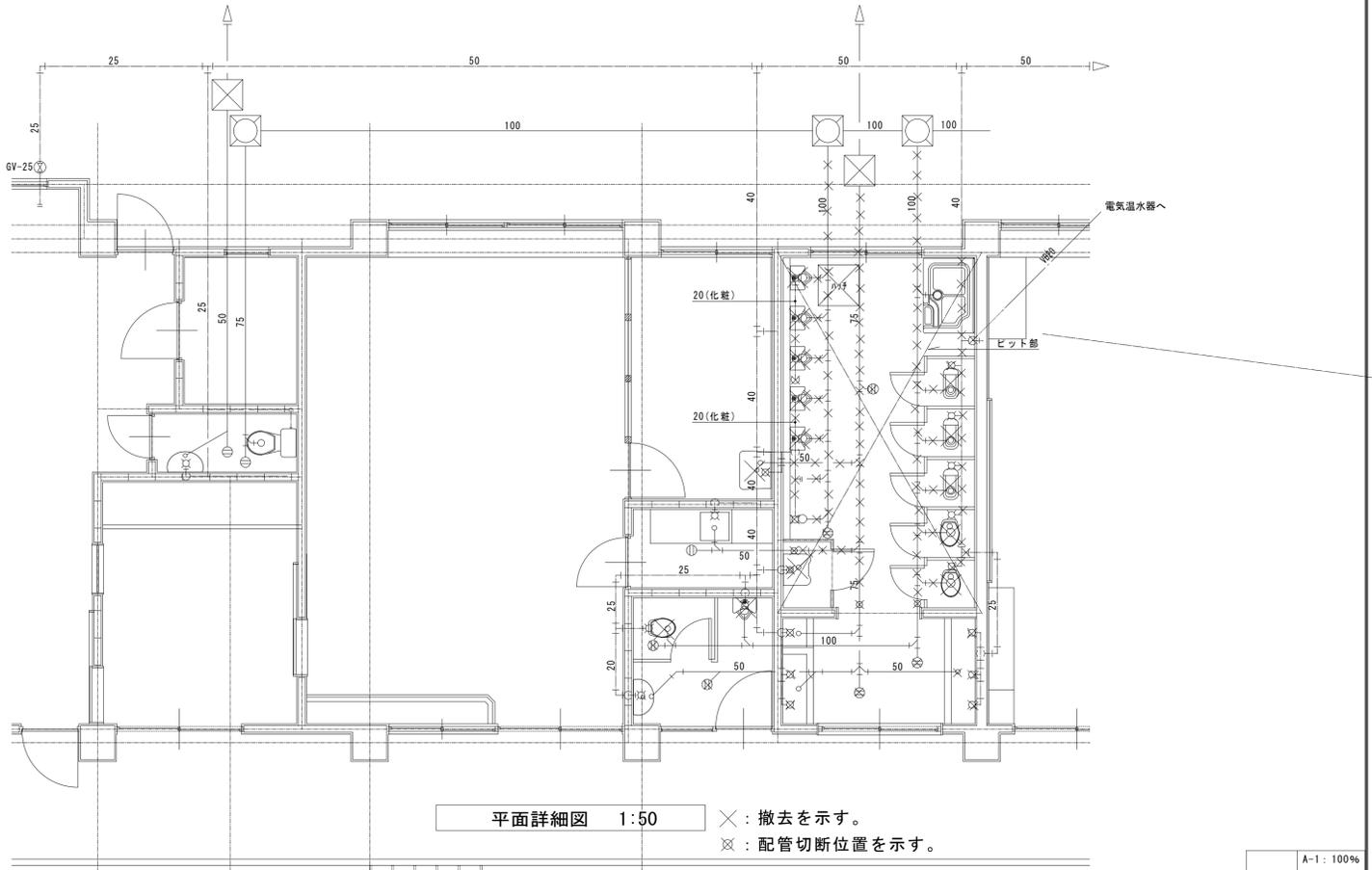
X: 撤去を示す。

名 称	室 名	仕 様 ・ 参 考 品 番	備 数	備 考
和式大便器	集合便所		3	撤去
洋式大便器	"		2	撤去
小便器	"		5	撤去 撤去跡化粧プラグ
掃除流し	"		1	撤去 撤去跡化粧プラグ
シャワーパン	"		1	取外し・再取付
電気温水器	"		1	既設・改修工事無し
水栓	"		7	撤去 撤去跡化粧プラグ
洋式大便器	職員便所		1	撤去
小便器	"		1	撤去
洗面器	"		1	既設・改修工事無し
洋式大便器	便所		1	既設・改修工事無し
洗面器	"		1	既設・改修工事無し
洗面器	教材室		2	撤去 撤去跡化粧プラグ
洗面器	保健室		2	撤去 撤去跡化粧プラグ
壁掛けガス湯沸かし器	給湯室		1	撤去
テーブルコンロ	"		1	撤去
自動水栓	保育室・多目的室		6	既設・改修工事無し
水栓	外部		9	撤去
プール水栓				プール詳細図による。



シャワーパン正面図 1:30

X: 撤去を示す。



平面詳細図 1:50

X: 撤去を示す。

□: 配管切断位置を示す。

参考数量書

§ 工事名称 福山市立道上幼稚園園舎改修給排水衛生設備工事

§ 工事場所 福山市神辺町字道上1195番地1

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 福山市立道上幼稚園園舎改修給排水衛生設備工事

工事場所 福山市神辺町字道上1195番地1

【工事概要】

- ・衛生器具設備工事 ~ 一式
- ・給水設備工事 ~ 一式
- ・排水設備工事 ~ 一式
- ・撤去工事 ~ 一式
- ・発生材処理 ~ 一式

【別途工事】

- ・建築工事
- ・電気設備工事
- ・冷暖房換気設備工事

給排水衛生設備工事		衛生器具設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
洗濯機パン	TOTO:PWP640N2W	1	組			
洗濯機用水洗	TOTO:TW11R	1	個			
幼児用和風便器	TOTO:C103VCS、TV550S、TSF290BR、T82CR32	1	個			
幼児用洋風便器	TOTO:CS300B、TV560QC、T82CR32、TC30、T56PH	4	個			
紙巻器	TOTO:YH500	6	個			
幼児用小便器	TOTO:U310GY、T601P、T64CP、T9R (グリップ付)	3	組			
汚物流し	TOTO:SKL330HNNN	1	組			
掃除用流し	TOTO:SK22A、T23AEQ20C、TN114、T9R、T37SGEP	1	組			
幼児用シク	TOTO:SKA300LEAPZ、UTR134K2	1	組			
横水栓	TOTO:T23BQ13C	6	個			
横水栓	TOTO:T28AUNH13	3	個			
横水栓	TOTO:T28AUH20	1	個			
横水栓	TOTO:T200BSQ13C	3	個			
シャワーヘッド	TOTO:TB-18RR	2	個			
貯湯式電気温水器	伊ミツ: EWM-14N	1	組			
IH調理器具	YAMAZEN: KES-WL1456E	1	台			
洋風便器	既存再取付	1	組			
幼児用シャワーブース	既存再取付	1	組			
計						

給排水衛生設備工事		給水設備		屋内		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管		1	式			別紙 00-0001
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	機械室・便所 20A	7	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	機械室・便所 25A	6	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	地中配管 40A	4	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)	機械室・便所 40A	4	m			
配管分岐(鋼管類)・手間のみ	配管分岐 50A 保温無	1	か所			
配管分岐(樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 40A 保温無	1	か所			
配管分岐(樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 20A 保温有	2	か所			
給水栓化粧ブラケット	13A	16	個			
計						
保温		1	式			別紙 00-0002
給水管 保温	標仕保温材 機械室,書庫,倉庫 アルミダクト 20A	7	m			
給水管 保温	標仕保温材 機械室,書庫,倉庫 アルミダクト 25A	6	m			
給水管 保温	標仕保温材 機械室,書庫,倉庫 アルミダクト 40A	4	m			
計						

給排水衛生設備工事		排水設備		屋内		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管		1	式			別紙 00-0004
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 50A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	10	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 100A	14	m			
給水・耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP)	屋内一般 20A	2	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	4	m			
配管分岐 (樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 100A 保温有	1	か所			
配管分岐 (樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 75A 保温有	1	か所			
配管分岐 (樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 50A 保温有	2	か所			
配管分岐 (樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 20A 保温有	1	か所			
機械はつり(パイプバンドカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 100mm	12	か所			
計						
掃除口		1	式			別紙 00-0005
床下掃除口	CO 100A	3	個			
床下掃除口	CO 80A	2	個			
床下掃除口	CO 50A	4	個			
床上キャップ止		2	個			
計						

